

中村

発行 中村会（愛知県立中村高等学校同窓会）

我らが母校 栄えあるまなびや



1965(昭和40)年



1981(昭和56)年



現在

中村会の会長に就任して

会長 伊藤 義人



平成28年5月15日(日)の総会で、第11代の同窓会会長に指名されました。昭和46年卒業の16回生です。卒業後、名古屋大学で学部・大学院を出て、直ぐに名古屋大学に勤務(39年間)し、平成28年4月からは国立岐阜工業高等専門学校の校長として赴任しています。名古屋大学には、大学院の留学生を含む学生を指導するため、招聘教員(客員教授・名誉教授)として、まだ籍を残しています。また、名古屋大学では法人化の直前の平成14年に、大学全体の全学同窓会(会員11.5万人)を立ち上げ、平成28年10月まで代表幹事をし、現在は副会長をしています。

中村高校は、私が生まれた年に設立されました。高校時代は、生徒会の会長や議長をしていました。卒業後、中村高校の創立50周年記念行事の実行委員会のメンバーとして声がかかり、それ以後ずっと同窓会役員会の幹事や副会長を10年以上してきています。また、その後中村会の関東支部の設立時には、副会長として中心的な役割を果たしました。50周年事業が終了後、会長・副会長・幹事長の3役の選考内規の原案を私が書き、役員選考に透明性を持たせるとともに、2期4年までの役員任期を明確にしました。今回、私はその規程に従って推薦され、選ばれたことになります。

高校の同窓会は、卒業生の中でもその存在感は人によってかなり違ってきます。卒業後に1度も母校を訪れていない方もおられると思います。一方で、機会があれば母校のために何らかの手助けをしてもよいと思われている卒業生も多いと思います。そのような方々と協力して、親睦の場だけでなく、母校を支援することにより社会貢献できる同窓会にしたいと考えています。現在、古くなった部活動の部室の建て替えを企画しています。今後、皆様と協力して各種の事業を進めたいと思いますのでよろしくご願ひ申し上げます。

後輩も頑張っています

校長 小菅 順一



同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より母校の教育活動に御支援をいただきありがとうございます。後輩である在校生は、先輩方の背中を見ながら、次の後輩の存在を背中に感じて、日々学校生活を送っています。今母校で頑張っている在校生の存在は、同窓生と次代の同窓生を繋ぐ架け橋になっていると思います。

部活動では、高校総体で陸上3種目、体操男子団体・女子個人、弓道女子個人が県大会に出場しました。体操男子団体は県大会で第4位という輝かしい成績を収めています。創作ダンス部は、全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸大会)で3年連続の入選をはたし、演劇部は2年ぶり県大会に出場しました。演劇部部員は、今年開催された国民文化祭閉会式にも出演しています。

愛知県が行っている事業では、先進的な理数教育に触れる、あいち理数教育推進事業「知の探究講座」に今年度6名の本校生徒が参加し(県下155名の高校生)、名古屋、名古屋工業、愛知教育の各大学で学んでいます。愛知県高校生訪問団バンコク都派遣事業には、県下12名の高校生に本校生徒1名が選ばれ、バンコクを訪問しました。12月末には、あいちスーパーイングリッシュハブスクール、高校生防災セミナーにおける本校生徒の発表も行いました。

後輩は、部活動、学習、国際交流などに頑張っており取り組んでいます。これからも、後輩の活動に一層の御支援をお願い申し上げます。

学校ホームページでは、「校長室だより」で本校を象徴するイチオウをはじめ様々な植物も紹介しています。それらの植物の場所を示す「植物マップ」も作製しました。会員の皆様が在校した頃より成長した植物をご覧いただき、母校の思い出話に花を咲かせる一助になれば幸いです。

第61回 中村会 総会・講演会・懇親会

平成28年5月15日(日)、ルブラ王山(名古屋市千種区)にて、第61回中村会総会・講演会・懇親会を開催しました。

【総会】

総会では平成27年度の事業報告、決算報告の後、新執行部の選任が行われました。



会長 伊藤 義人 (16回生)

楽しい同窓会を目指したいと思います。母校中村高校の発展と現役生徒のために、同窓生、校長先生、先生方および保護者の方々と一緒にがんばりたいと思います。



副会長 川合 富雄 (17回生)

総務を担当します。

中村会では広報の仕事ばかりをしてきたので、総務の仕事は分からないことばかりです。

前任者に教えてもらいながら、これからの中村会発展のために微力ながら尽力したいと考えております。これからもよろしくお祈りします。



副会長 水野 圭爾 (26回生)

同窓生の皆様に母校を思い出していただき、同窓生同士のつながりを広げていただけるよう活動してまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



副会長 古木 啓介 (47回生)

渉外・広報を担当させていただきます。少しでも同窓会を身近に感じていただけるようにアクションを起こしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新執行部により、平成28年度の事業計画、予算計画の説明があり、承認されました。報告・計画内容の詳細は、次ページをご覧ください。

【講演会】

テーマ「知っていますか？建築は職人技の結晶」

講師 山本 義治氏 (15回生)

株式会社大林組名古屋支店建築工事部担当部長

山本さんが総括グループ長として関わられた、名古屋駅前の「モード学園スパイラルタワー」の建築工事をもとに、そこで取り入れられている様々な建築の技法について分かりやすくお話をいただきました。特徴的な「ねじれ」を生み出すため、外面は三角形フレームの多面体で構成され、また1枚ずつガラスの大きさが違い、同じ形状のものは2つとしてないことには参加者皆が驚きました。他にも地上と地下の工事を同時進行で進める技法のことなど、まさに建築は考え抜かれ、工夫がなされた職人技の結晶であることを知ることが出来ました。



講演の様子

【懇親会】

総会・講演会に引き続き、懇親会を行いました。恒例イベントとなりつつある、高木靖之氏(26回生)によるオークションを中心に大いに楽しみました。最後に、学園歌・応援歌・校歌を宮崎前会長のリードにより歌い、それぞれが高校時代を思い出しました。



27年度事業報告

◆平成27年度 中村会 事業報告

- 1 総会及び60周年式典の開催 (H27.8.16)
- 2 会報の発行 (第13号)
- 3 Web ページの運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催 (年5回)
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会への参加
- 11 次期役員を選出
- 12 会則の見直し

平成27年度 中村会 決算報告

収入の部 (単位: 円)

科目	予算額①	執行額②	差額②-①	備考
前年度繰越金	2,297,719	2,297,719	0	
入会金	1,428,000	1,416,000	-12,000	卒業354名
雑収入	281	0	-281	
計	3,726,000	3,713,719	-12,281	

支出の部 (単位: 円)

科目	予算額④	執行額⑤	差額④-⑤	備考
事業費	100,000	0	100,000	
HP 運営費	330,000	327,240	2,760	プロバイダー毎月5,670 管理改修費毎月21,600
通信費	400,000	422,970	-22,970	総会案内発送等
会報費	250,000	292,161	-42,161	会報はがき・封筒作成
総会施設費	50,000	65,790	-15,790	
名簿管理費	260,000	156,777	103,223	
諸雑費	10,000	4,536	5,464	振込手数料
慶弔費	40,000	21,600	18,400	元同窓会長葬儀供花
会議費	5,000	0	5,000	
予備費	80,000	5,060	74,940	事務用品補充
繰越金	2,201,000	0	2,201,000	
計	3,726,000	1,296,134	2,429,866	

残高の部 (単位: 円)

収入額計	支出額計	次年度繰越金
3,713,719	1,296,134	2,417,585

上記に相違ありません

平成28年5月7日 監査 山田 幸雄 ㊞
監査 祖父江 隆 ㊞

28年度事業計画

◆平成28年度 中村会 役員

- 会長 伊藤 義人 (16回生)
副会長 川合 富雄 (17回生・総務担当)
水野 圭爾 (26回生・財務担当)
古木 啓介 (47回生・広報担当)
事務局長 伊藤 太亮 (45回生)
書記 伊藤 太亮 (45回生)
会計 丹後 茂 (29回生) 江口 基 (42回生)
監査 太田 守彦 (22回生) 祖父江 隆 (45回生)

◆平成28年度 中村会 事業計画

- 1 総会の開催
- 2 会報の発行 (第14号)
- 3 Web ページの運営とその効率化の実施
- 4 役員会の開催
- 5 『英気の泉』基金の募集・運用
- 6 教養講座「中村未来塾」への協力
- 7 PTA との連携事業の推進
- 8 縦のつながりの増強活動
- 9 常任幹事の増強
- 10 関東支部の支部総会の実施

平成28年度 中村会 予算案

収入の部 (単位: 円)

科目	予算額	備考
前年度繰越金	2,417,585	
入会金	1,440,000	4,000円×360名
雑収入	415	
計	3,858,000	

支出の部 (単位: 円)

科目	予算額	備考
事業費	100,000	総会経費、奨学金
HP 運営費	330,000	HP メンテナンス料金等
通信費	450,000	会報発送等
会報費	300,000	会報作成
総会施設費	70,000	総会会場使用料
名簿管理費	180,000	新規入力、変更、削除
諸雑費	10,000	振込手数料
慶弔費	40,000	上級大会出場祝金
会議費	5,000	役員会
予備費	50,000	
繰越金	2,323,000	
計	3,858,000	

総会・講演会・懇親会の御案内

日時 平成29年5月14日(日) 11:00~14:30
会場 ルプラ王山
地下鉄東山線池下駅から東へ徒歩3分
電話 052-762-3151

次第 受付 10:30~11:00
総会 11:00~11:30
講演会 11:30~12:30
懇親会 12:40~14:30

会費 懇親会のみ有料(当日お支払いください)
一般会員 5,000円
学生会員 1,000円
今年の卒業生(62回生)は無料

申込 出席の場合は、同封のはがきを使って、4月21日(金)までに投函してください(62回生はメールで申し込んでください)。欠席の場合は連絡の必要はありません。

同期会・同窓会報告

■26回生同期会

平成28年2月21日（日）、ウェスティンナゴヤキャッスルにて26回生同期会を行いました。

私達26回生（昭和56年3月卒業）は4年ごとのオリンピック開催年に同期会を開き、4回目となりました。今回は少し気取ってウェスティンナゴヤキャッスル。秦先生、山田先生、桜井先生もお出でになり、総勢70名で旧交を温めました。キャッスルだけにテンションもやや高めでした！！

53歳になりましたが、会えば「ノリ」は高校生時のまま。夜のカラオケまでずっとはしゃぎっぱなしのおじさん、おばさんたちでした。

高校当時の学級写真つづりが持ち込まれました。これには人だかりがで、珍しげにのぞき込む人が絶えませんでした。それほど変わっていないや、いやいや誰だこれは…

（26回生 加藤 伸夫）



■47回生弓道部同期会

平成28年11月5日、名古屋駅前にて47回生弓道部同期会を行いました。47回生は平成14年卒業、卒業から15年になります。

仕事があって二次会から駆けつけてくれた仲間や、同級生と思いついて48回生（笑）もいて13名が集まりました。話を聞けばみんなの今はいろいろですが、集まればみんなあの頃に戻れて、楽しい時間を過ごしました。

また来年！

（47回生 古木 啓介）



■関東支部総会懇親会

平成28年8月6日（土）、東京港区のアジュール竹芝にて、中村会関東支部の総会・懇親会を26名の参加を得て開催いたしました。平成23年の設立総会・懇親会より6回目となります。総会に続いて行った懇親会では会員紹介として参加者全員による近況報告があり、和気あいあいとした、とても温かみのある会となっております。開催にあたり本部をはじめ関係者の皆様のご支援に改めまして感謝申し上げます。



総会次第 伊藤会長挨拶、浜田支部長挨拶、大西幹事長より報告

懇親会 山田教頭挨拶、浜田支部長乾杯、

アトラクション（9回生村岡次栄様の日本舞踊、ゲスト渡辺嘉子様のシャンソン）

関東支部は関東地区在住の皆様との交流を図るとともに、何らかの形で母校中村高校の発展に貢献できればとの思いで立ち上げた会です。年に一回は東京での総会を開催したい（平成29年度は8月5日（土）を予定）と考えていますので、引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。（支部長25回生 浜田 和久）

同窓会・同期会の情報をお寄せください！

「これから開催したい！」…■中村会 Web ページ・facebook で案内することができます。

連絡先が分からなくて声がかかれなかった方にも連絡が出来る可能性があります。

■同期会開催に必要な住所情報について、提供することが出来ます（有料）。

「開催したんだ！」…■写真をつけてぜひご報告ください。会報や facebook ページで報告をさせていただきます。

ご連絡は中村会事務局 電話：052-411-7760 Fax：052-413-5357 E-mail：中村会 Web ページまで！

第22回 努力が人をつくる

平成28年11月4日 中村高校体育館 高木 靖之氏 (26回生)
(東翔エステート株式会社 取締役)



1年生360名と保護者の方がお話を伺いました。当時の同級生のうち150人が国立、150人が有名私立へ進学する中、家庭の事情で大学に進学せず就職した高木氏は、将来同級生が企業の重役になっても、同じ立ち位置で、対等な立場でいるために、「社長になろう!」と18歳で決意しました。実際に43歳になって独立した、そんな高木氏が生徒達に伝えたいこと…

努力は裏切らない 努力し続ける 成功体験をする

努力とその成果は正比例ではありません。階段状にステップアップします。多くの人が、成果が見えないうちに努力をやめ、夢をあきらめてしまいます。成果が出ないからと諦めてしまうのではなく、成果がでるまで努力し続ける。諦めなかった人が成功に繋げることができます。

成功体験を体感するため、今、勉強することが大切です。勉強という努力をすると、点数という成果が目に見えて確認できるからです。まずは目標を決めます。あまり高くない目標がいいです。また正しい考え方を体得することが、社会へ出た時に、様々な場面で対応する力の軸となります。そして、若いうちに是非起業してください。若い力と発想が日本を変えていきます。

身をもって経験されたからこそその力強いお話でした。これから未来に向かって踏み出す生徒達の心にも響いたのではないのでしょうか。

母校だより

「わが精鋭の中村健児」はどんな活躍を見せてくれているか、
先輩としては興味津々! 母校の現在の活躍を紹介

国際交流活動報告

7月24日～8月7日の2週間、姉妹校であるオーストラリアの Mentone Girls Secondary College を訪問しました。

私は英語がそこまでできるというわけでもなかったのですが、洋楽など海外に興味があり、直前まで迷っていましたが、思いきって応募してみようと思い、参加しました。

オーストラリアに行くまで事前指導として英語の練習はしたものの、いざ行ってみると、なかなか思うようには話せず、手こずっていましたが、だんだん英語を話したり、聞きとったりなどすることができるようになりました。オーストラリアの街散策のときに道がわからず近くにいる人に質問したら優しくていねいに教えてくださったり、とてもいい人がたくさんいる場所でした。



ホームステイ中でも、1人部屋を設けていただき、英語を話すスピードを少しゆっくりにしてくれたりなど、過ごしやすい環境をつくってくれ、とても優しく温かい家族に囲まれて幸せでした。ご飯もこれが食べたいとリクエストすると食

べさせてくれたり、いろいろな場所へもつれていってもらいました。

ホームステイ中は、メントンの学校にも通い、たくさんのお友達を作ることができました。お母さんが毎日用意してくれたランチをホームシスターとその友達と一緒に食べました。お別れの前日はメントンのみんなに「卒業式」をしてもらい、とても泣き笑いしました。お別れの日は本当にさみしくて帰りたくなくて、みんなで泣き合いながら帰るくらい充実した2週間を過ごすことができました。

本当にあの2週間は一生忘れられない思い出です。言葉が通じなくて嫌になる日もあったけれど、本当に楽しく幸せでした。連れていってくれた家族、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。加えて、私達の国際交流の活動には、同窓会の支援があると伺いました。支えていただいたすべての人達に心からお礼を言いたいです。本当にありがとうございました。 64回生 (現高校1年生) 高間 彩優花



部活動紹介

■吹奏楽部「徳島ひょうたん島水都祭」に参加

私たち吹奏楽部は平成28年7月24日に、徳島市の藍場浜公園で開催された「徳島ひょうたん島水都祭」に参加しました。当日朝4時に学校集合、バスは4時半出発予定と早かったので、時間通り集合できるのか不安でした。しかしながら、皆やる気十分ではりきっていたので10分前には出発することができました。約5時間後到着、現地の天気も良く、降り注ぐ太陽の光と蝉時雨を浴びながら、名古屋のポップスバンド「レミ街」と一緒になって、中村高生らしい元気一杯の演奏を披露することができました。別途現地へ駆けつけて下さった保護者がいたり、大阪から参加していた他の出演バンドから「今度は是非私たちと一緒にやりましょう」とお誘いを受けたりと、大変嬉しい思いで現地を後にすることができました。レミ街のメンバーからも同窓会の皆様によるしくお伝え下さいと伝言を承っております。

この度は、ご協力いただき誠に有難うございました。【徳島市藍場浜公園にて (遠征費の一部を英気の泉から支出しました。) 7/24撮影】



上記の母校での活動には、中村会母校支援基金「英気の泉」から資金援助を行っています。ぜひ「英気の泉」にご協力ください! 詳しくは6ページをご覧ください。

母校支援プロジェクト 始動！！

中村会では、母校支援プロジェクトとして、高校中庭にある「部室」の改築を計画しています。

建築から40数年、多くの同窓生には思い出深い場所の1つですが、近年老朽化が目立ってきており、雨漏りや屋根に穴が空いている箇所もあり、使用できない部屋もいくつか出てきています。

今回、学校とPTAの協力を得て、同窓会・卒業生の力でこの部室を建て替える方向で検討を進めています。中村会では、今年と同窓会総会で組織を立ち上げ、建て替え資金の募集を開始する予定です。

詳細は今後 Web ページ・Facebook ページ等でお知らせしていきます。



■賛助会費納入のお願い

賛助会費とは、同窓会の活動を支える大事な収入源です。同窓生の皆さんに毎年2,000円または終身50,000円の会費納入をお願いしています。

本会報同封の振込用紙または以下の振込先から納入をお願いいたします。

●賛助会費 入金先

郵便振替 00850-6-185948

中村高校同窓会 賛助会費

※振込手数料はご負担ください。

■同窓生で氏名・住所変更された方は事務局までご連絡ください。

事務局担当：伊藤 太亮（45回生）

TEL：052-411-7760（中村高校）

FAX：052-413-5357（中村高校）

E-mail：Web ページからご連絡ください。

■中村会 Web ページ

<http://www.nakamurakai.gr.jp/>

■中村会 facebook ページ

<https://www.facebook.com/nakamurakai.aichi/>

インターネットのここを検索して！
フェイスブックにも登録しているよ

中村高校同窓会

検索

■母校支援基金「英気の泉」への募金のお願い

母校支援基金「英気の泉」は、中村高校の在校生の諸活動に対する同窓会からの資金援助を行うための基金で、校歌の一節をとり、在校生の英気を資金面から援助する「泉」となっています。

最近では、在校生の海外短期留学や部活動の遠征交通費支援、部活動器具・道具の修理・購入などを行っています。

ぜひ在学生のためにこの泉を枯らさないよう、皆さんのご厚志をよろしく願います。

●英気の泉 募金入金先

三菱東京UFJ銀行柳橋支店 普通4709739

英気の泉 萩原義昭

※振込手数料はご負担ください。

●平成27年度援助事業

野球部応援バス代金補助 130,000円

イングリッシュ・サマー・キャンプバス代金 284,456円

中村ダンスフェスティバル開催祝金 30,000円

●平成27年度寄付者等（敬称略）

岡田 順一（元校長）、遠山 周二（4回生）、

萩原 義昭（10回生）、堀田 守人（18回生）、

青木 八千代（20回生）、太田 守彦（22回生）、

太田 久子（22回生）、高木 靖之（26回生）、

原 美紀（29回生）、匿名（29回生）、

山下 路代（34回生）、野村 哲哉（37回生）、

キタガワ ヒロフミ（回生不明）、

イトウ ヨシヒロ（回生不明）、

スイトウ ヒデカツ（回生不明）、

20回生同期会、29回生同期会、中村高校PTAバザー、

総会オークション売上

発行 平成29年3月11日

愛知県立中村高等学校同窓会「中村会」

〒453-0068 名古屋市千種区菊水町1-2-18（中村高校内）